

東日本大震災  
久里浜医療支援  
こころのケアチーム  
第22班報告

平成23年8月2日～5日

松下幸生、原 知子(東一病棟)、鈴木信芳(しおさい)

## 第22班の活動内容

- 他の医療チームや保健師さん達との情報交換
- 仮設住宅への訪問
- 自宅への訪問
- こころの相談室での相談受付
- 大船渡消防団精神疾患スクリーニング
- 取材協力
- 第23班へ引継ぎ

# 大船渡の街の様子の変化

## 5月頃の様子と比べて

- 多くの被災者が仮設住宅へ移動した
- 瓦礫の片づけや被害を受けた住宅の撤去の進行
- コンビニ、スーパーマーケットなどの商業活動はほぼ通常通りまで復興(したように見える)

# 大船渡市街地の様子



瓦礫は集められて道路に残る瓦礫はほとんどなくなりました

# 大船渡港の様子



以前は立ち入れなかった港にも入れるようになりました

その一方で・・・



# 相談内容(平成23年8月3日)

年齢	性別	相談内容
60代	男性	アルコール問題に加えて風呂場で転倒して腰を強打し、動けなくなっている。疼痛は改善傾向にあったが保健師さん同伴で整形外科受診の予定となった
40代	女性	津波に関する恐怖感、PTSD様症状。症状はありながらも内職をするなど何とか生活を維持している状態
50代	女性	家族を津波で失う。悲嘆反応ありハイリスクとされている。介入継続を希望せず。
70代	男性	アルコール問題、高血圧
60代	男性	アルコール問題、脳梗塞で入院。訪問時不在
?	男性	アルコール問題。訪問時は昼寝しており妻より状況を聴取
80代	女性	震災を機に発覚した夫の浮気、精神的苦痛。訪問時不在
40代	男性	アルコール問題。電話するも通じず
20代	男性	自傷行為、パニック発作。県内の病院に通院中だが、訪問継続を希望

# 取材協力



# 大船渡消防団との打ち合わせ



訪問後午後6時より大船渡消防署にて消防団長さんや消防署の消防団担当係の方と消防団員の心の健康スクリーニングについて打ち合わせ。8月末までにテスト結果を回収していただくことになりました

# 相談内容(平成23年8月4日)

年齢	性別	相談内容
70代	女性	うつ病。震災前にうつ病で治療歴があり、震災で子供を亡くしたことを契機として再発。県内の病院に通院しているため自宅での様子を通院先へ情報提供
60代	男性	飲酒運転、朝酒、手指振戦などのアルコール問題。連絡するも多忙で訪問を希望せず

# こころの相談室（平成23年8月4日）



「こころの相談室」が開設します  
精神科の医師、保健師、看護師、ケースワーカーとび  
ご相談をお受けいたしますので、ご相談ください。

相談日	毎週 木曜日
時間	13時30分～15時30分
場所	大船渡地区合同庁舎2階 第1相談室 大船渡保健所（大船渡市稲野町字前田6-1）
予約・お問い合わせ	090-2635-2591 (水・木曜日 9時～16時 / 金曜日 9時～12時)

必ず予約をお願いします。  
※ 事前の予約なしでも受け付けます。また、お急ぎの場合は予約なしでも受け付けます。  
※ 予約は、当日でも心づいてお申し込みいただけます。  
※ 予約は、当日でも心づいてお申し込みいただけます。  
※ 予約は、当日でも心づいてお申し込みいただけます。

「予約必須です！」  
「予約がなくても、相談は可能です！」  
「予約がなくても、相談は可能です！」  
「予約がなくても、相談は可能です！」

「予約がなくても、相談は可能です！」  
「予約がなくても、相談は可能です！」  
「予約がなくても、相談は可能です！」

大船渡保健所・こころのケアチーム

待合室も準備しましたが・・・



午後1時半から3時半まで開設。  
市民の方々に周知されていない  
ためか、来訪者はゼロでした

診察室の様子

# 結局・・・



活動報告書などのペーパー  
ワークの時間となりました

# 相談内容(平成23年8月5日)

年齢	性別	相談内容
50代	男性	本人の母親から震災で自宅や仕事を失ってうつ病が心配とのことで相談。本人は不在だが本人から母親への連絡で元気に働いているらしいとのことで、母親の心配について傾聴。
50代	男性	認知症の方。症状より前頭側頭型認知症が疑われる。訪問して同居家族より状況を聴取し、家族のストレスが強いことから継続必要と判断した。

# 全体の印象

- ころのケアの相談件数は全体的には増える傾向にはないが、問題はより専門化
- 支援していた医療チームは撤退が続き縮小傾向
- 今後は件数が大きく増えることはないと考えられるが、複雑化、重症化することも予想されるため地域医療への支援継続は必要であろう
- 仮設住宅では自立を進める人と自立できない人との格差が目立つことが予想される

# 今後の課題

- 相談の変化を踏まえて支援のあり方の検討
- 消防団スクリーニング結果をうつ病、PTSD、アルコール問題の予防にどのように生かすか